

「研究開発分野におけるロジックモデル等の高度化に関する 国内外の動向調査」公募説明会

8月18日

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

評価部

- 本資料は公募にあたって留意すべき点について、公募資料からの抜粋及び補足として説明するものです
- 詳細については、公募要領及び仕様書等の記載事項をご確認ください。

件名：研究開発分野におけるロジックモデル等の高度化に関する国内外の動向調査

背景・目的

- 近年、国内の予算要求等においてもEBPM（証拠に基づく政策立案）に関する取組、特にロジックモデルを予算要求資料として活用する取組が行われているところ。ロジックモデルなど、EBPMに関連する取組の重要性は益々高まっている
- NEDOの研究開発プロジェクトにおいても、インプットからアウトカムまでの道筋を示したロジックモデルを作成し、事業終了後の社会実装までの流れをプロジェクト開始時から共有することで、波及効果までを念頭に置きながらプロジェクトを推進・評価している
- この時、より適切なロジックモデルを作成できれば、プロジェクトの成果をこれまで以上に最大化し、より早期に社会実装できることが期待される
- 本調査では研究開発分野等におけるロジックモデル高度化に貢献することを目的として、**欧米の先進事例の収集・分析**を行う。また、**海外の専門家を集め、最新の情勢を踏まえてロジックモデル高度化等につながる議論**を行う。これらの取組から得られた知見をとりまとめて**NEDOのロジックモデルに適用し、その高度化手法について示唆**を得る。

調査項目

調査項目（1）
欧州及び米国等におけるロジックモデル等の先進事例の収集

調査項目（2）
日米欧国際ワークショップの開催

調査項目（3）
ロジックモデルの高度化に関する分析

1. 調査概要（調査項目への補足）

調査項目（1） 欧州及び米国等におけるロジック モデル等の先進事例の収集

- 情報収集を実施する項目
- EBPMが提唱され発展した欧米を中心に、研究開発分野におけるロジックモデル等の作成方法や活用事例について最新の動向を収集し、整理する
- 対象は米国や英国、その他欧州の各国を想定しているが、事例の収集結果に応じて選定するものとする

調査項目（2） 日米欧国際ワークショップの 開催

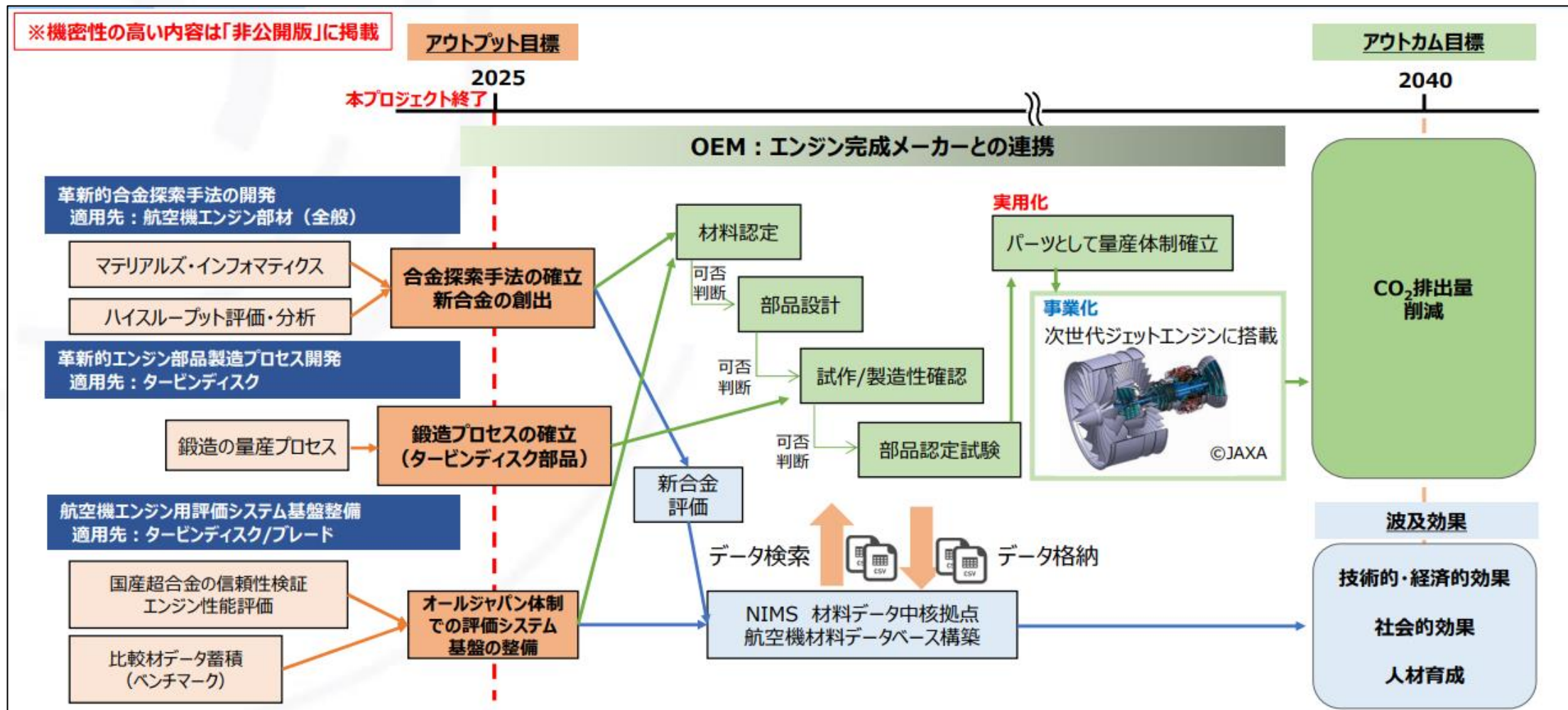
- ワークショップの開催支援を実施する項目
- 欧州及び米国からそれぞれ専門家を招き、ロジックモデルの最新事例を報告する日米欧国際ワークショップを開催する。ワークショップは次のような時期や規模を想定し、具体的にはNEDOと相談の上決定する。なお、専門家の招聘に係る業務（航空券手配・宿泊手配含む）は本調査に含むものとし、参加者等へのアンケートを実施する。
（ワークショップのイメージ）
時期：2024年1～2月（半日程度）
規模：60名程度（会場参加）
会場：NEDO霞ヶ関分室会議室
形式：対面とオンラインのハイブリッド開催

調査項目（3） ロジックモデルの高度化に関する 分析

- ロジックモデル高度化について分析する項目
- （1）及び（2）で収集・整理した海外の理論構築（ロジックモデル等）手法について、NEDOのロジックモデルに適用し、その高度化につながるよう分析する

なお、2024年2月末までに中間報告を行うこと

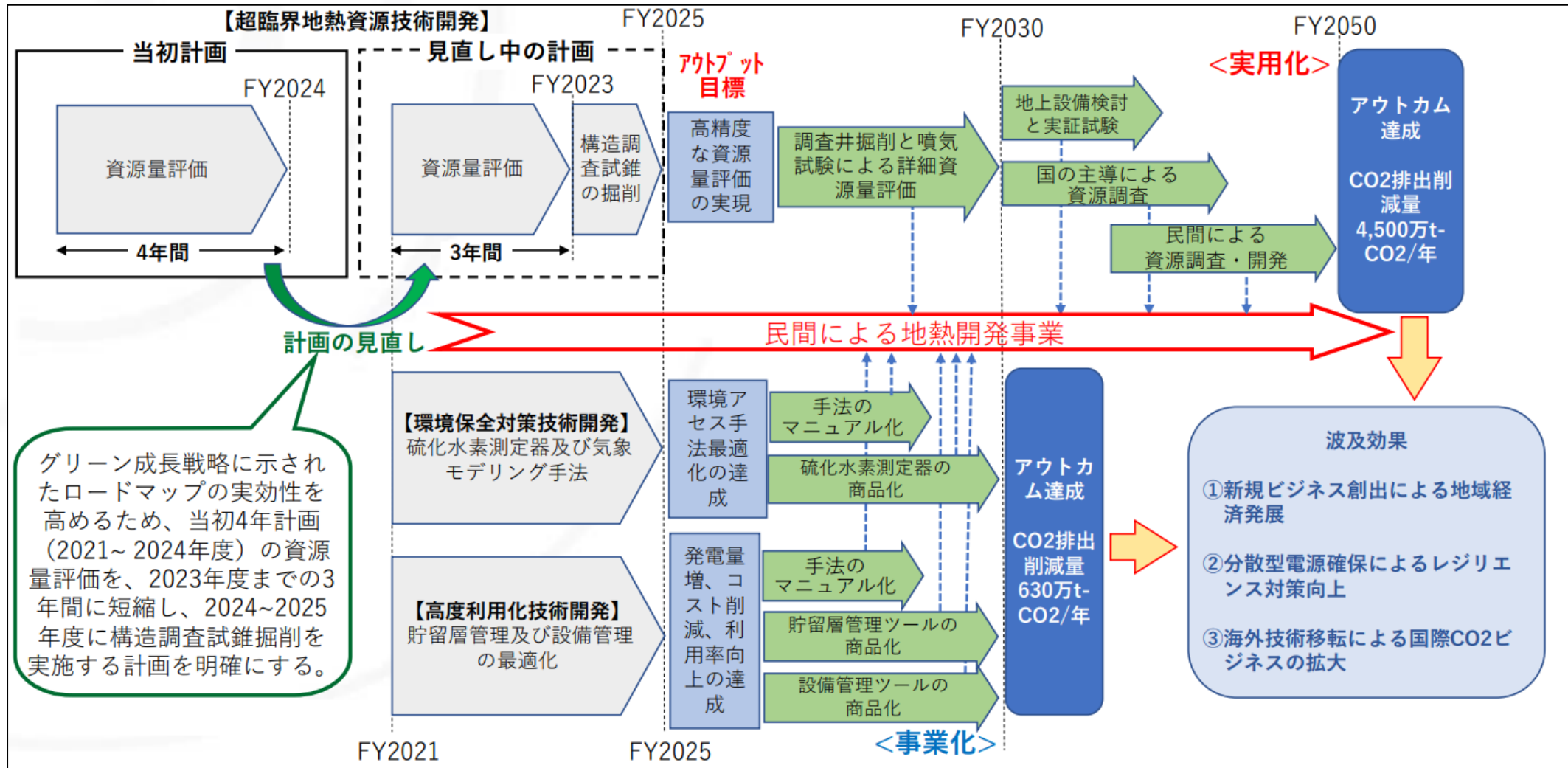
1. (参考) NEDOにおけるロジックモデルの例



「航空機エンジン向け材料開発・評価システム基盤整備事業」

評価資料より引用。評価資料はHPから閲覧可能：https://www.nedo.go.jp/introducing/iinkai/kenkyuu_index.html

1. (参考) NEDOにおけるロジックモデルの例



「地熱発電導入拡大研究開発」

評価資料より引用。評価資料はHPから閲覧可能：https://www.nedo.go.jp/introducing/iinkai/kenkyuu_index.html

2022年度委託調査「海外の評価及び追跡調査等に関する最新動向調査」成果報告書
(8/下旬以降にNEDOサイトの成果報告書データベースにて公開予定) より

【米国の例】： EEREの評価実施手順におけるロジックモデル設定

- ステップ1 (評価のための初期準備) において、「意思決定に必要なエビデンスが得られると考えられる優先順位の高い質問を設定する。その際、最初のプログラムロジックモデルを作成することが有効」
- ステップ3 (評価計画の策定) において、「最終的なプログラムロジックモデルを作成する。採用された評価者は、最終的なプログラムロジックモデルを構築または確認する」

【英国の例】： Innovate UKにおけるロジックモデル作成の意義づけ

- Innovate UKが行うすべての評価活動において最初に着手すべきこととして、ロジックモデルの作成があげられる。プログラムがもたらす結果への道筋を仮説として可視化するロジックモデルを作成することは、予想される事柄を確実に測定することに寄与するばかりでなく、想定外のインパクトを捉えることを可能にする。

2. 調査期間等について

調査期間

- NEDOが指定する日から2024年3月31日まで

予算額

- 2,000万円以内

報告書

- 記載内容は「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って作成：
<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>
- NEDOプロジェクトマネジメントシステムにより、電子媒体にて提出。

打合せ及び報告

- 調査の進捗状況は、NEDOの求めに応じて随時報告
- 委託期間中又は委託期間終了後に、成果報告会における報告を依頼することがある

応募要件

- 次のa.からc.までの全ての条件を満たすことのできる、単独ないし複数で受託を希望する企業等
 - a. 当該技術又は関連技術についての調査／事業実績を有し、かつ、調査／事業目標の達成及び調査／事業計画の遂行に必要な組織、人員等を有していること。
 - b. 当該委託業務を円滑に遂行するために必要な経営基盤、資金等について十分な管理能力を有し、かつ情報管理体制等を有していること。
 - c. N E D Oが調査／事業を推進する上で必要とする措置を、適切に遂行できる体制を有していること。

提出書類

- 提案書 1 部と、そのほか添付書類※を提出。
※提案書類には、次の資料又はこれに準ずるものを添付
 - (1) 会社経歴書（N E D Oと過去1年以内に契約がある場合を除く）
 - (2) 直近の事業報告書及び直近 3 年分の財務諸表（原則、円単位：貸借対照表、損益計算書）※
なお、審査の過程で、必要に応じて財務に関する追加資料の提出を求める場合があります。
 - (3) N E D O事業遂行上に係る情報管理体制等の確認票及び対応エビデンス（別紙2）
 - (4) N E D Oが提示した契約書（案）（本公募用に特別に掲載しない場合は、標準契約書を指します）に合意することが提案の要件となりますが、契約書（案）について疑義がある場合は、その内容を示す文書を添付してください。※調査委託契約標準契約書<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/yakkan.html>
 - (5) 提案書類は、日本語で作成していただきますが、提案者が外国企業等であって、提案書類を日本語以外の言語で作成し、日本語に翻訳したものである場合は、参考としてその原文の写しを添付してください。

提案書の受理

- 提案書類を受理した場合は、提案書類の受理を提案者にメールにて通知

提出時の留意事項

- 提出書類は、全てPDF形式とし、ひとつのzipファイルにまとめて提出
- 再提出は受付期間内であれば何度でも可能。同一の提案者から複数の提案書類が提出された場合は、最後の提出のみを有効とする
- 提案書に不備があり、提出期限までに修正できない場合は、提案を無効とする
- 受理後であっても、応募要領の不備が発覚した場合は、無効となる場合がある

提出期限・提出先

- 提出期限は2023年8月31日（木）正午
- Web入力フォームから必要情報の入力と提出書類のアップロードを行う
※ Web入力フォーム：
<https://app23.infoc.nedo.go.jp/koubo/qa/enquetes/t6yzu1c0ajex>

審査

- 以下の審査基準に基づき提案書類を審査
 - a. 調査の目標がN E D Oの意図と合致していること。
 - b. 調査の方法、内容等が優れていること。
 - c. 調査の経済性が優れていること。
 - d. 関連分野の調査等に関する実績を有すること。
 - e. 当該調査を行う体制が整っていること。
 - f. 経営基盤が確立していること。
 - g. 当該調査等に必要な研究員等を有していること。
 - h. 委託業務管理上N E D Oの必要とする措置を適切に遂行できる体制を有していること。
- ※そのほかワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等の状況も考慮

留意事項

- 新規に調査委託契約を締結するときは、最新の調査委託契約約款を適用。
- 委託業務の事務処理は、NEDOが提示する事務処理マニュアルに基づき実施。
- 委託業務事務処理やプロジェクトマネジメントに関する一連の手続きについては、「NEDOプロジェクトマネジメントシステム」の利用が必須となる。
なお、利用に際しては利用規約 (<https://www.nedo.go.jp/content/100906708.pdf>) に同意の上、利用申請書を提出する必要がある
- 委託事業の手続き：約款・様式 <https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/yakkan.html>
- 委託事業の手続き：マニュアル <https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

今後のスケジュール

- 8月10日：公募開始
- 8月18日：公募説明会
- 8月31日 正午：公募締め切り
※応募状況等により、公募期間を延長。公募期間を延長する場合はNEDO HPで通知。
- 9月上旬（予定）：審査・採択決定

本公募に関するお問い合わせは、下記までメールにてお願いします。
審査の経過等に関するお問い合わせには応じられません。
なお、お問い合わせの内容に応じて、公平を期すために回答を本公募のウェブサイト上に公開する場合があります。

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO） 評価部
前野、松田、内田
E-MAIL : nedo_eval@nedo.go.jp

ご応募をお待ちしております